



BLS0 コース in 安房 ～ 亀田総合病院 ～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年に開発され、1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP 米国家家庭医学会)によって認可された。現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。さらにALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年現在までに、50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了した。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約600名がALSOコースを修了した。参加者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、医学部生、そして救命救急士などであり、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わる可能性のある人たちがトレーニングできる場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやまない。

BLS0 (Basic Life Support in Obstetric) コースは、病院前産科救急を想定した、産科救急基礎トレーニングコースで、世界中で実験的におこなわれるようになっている。本コースは、交通事故などの妊婦外傷を含む病院前の産科救急的対処を強調しており、特に産科救急に突然遭遇する可能性がある救急医、救急ナース、そして救急救命士を対象とした教育コースである。本コースは一日コースで、少人数グループによる重要ワークショップは正常分娩、分娩第3期の処置、肩甲難産、産後大出血の対処、新生児の処置・蘇生法である。また筆記試験とマネキンによる実技試験がコースに含まれている。BLS0コースを受講し試験に合格した場合、参加者はAAFPとALSO-Japanが認定する5年間有効の認証を受けることができる。

開催概要

セミナー：BLSO コース

主催：亀田メディカルセンター 周産期医療研修委員会

共催：NPO 法人周産期医療専門医支援機構(OPPIC)

開催場所：亀田医療技術専門学校(予定)
(千葉県鴨川市東町 1343-4)

日時：2014年1月18日(土) 8:30～17:00(予定)

費用：10,000円

募集定員：24名

申込方法：別添受講申込書に必要事項を記載の上、E-mail または Fax にて
事務局担当者宛 お申し込みください。

申込締切：2013年12月7日(土)

定員に達しましたので、募集は締め切りました。

事務局

亀田総合病院 診療部事務室 榎谷 由香(マサヤ ヲカ)

：04-7092-2211(代表) 【PHS 8995】

F a x: 04-7099-1198

E-mail: masaya@kameda.jp

講習会スケジュール(予定)

	時 間
受付	8:00-8:30
妊婦評価(イントロ)	8:30-9:30 (60分)
分娩介助	9:40-10:40 (60分)
新生児蘇生	10:50-11:50(60分)
昼食	11:50-12:50(60分)
救急車内分娩	12:50-13:30(40分)
産後大出血・妊婦蘇生	13:40-14:40(60分)
シナリオ・実技練習	14:50-15:30(40分)
筆記試験・実技試験	15:50-17:00(90分)

アクセス



お車でお越しの場合

各所より館山道 君津 IC を出て、交差点を左折、東粟倉交差点を左折して房総スカイライン(有料道路 300円)、笹交差点を右折して鴨川有料道路(有料道路 200円)を経て鴨川市内へ。鴨川駅交差点を左折し、鴨川シーワールドを過ぎると左手に病院が見えてきます。病院前の交差点を左折してパーキング棟に駐車してください。

電車でお越しの場合

JR 外房線「特急わかしお」にて安房鴨川駅まで。(東京駅より約2時間、蘇我駅より1時間 20分)
安房鴨川駅よりタクシーで約 10分。

会場のご案内

亀田医療技術専門学校 2号館

